

安全・安心のまちづくりと学校の施設環境保全について 一般質問



衣笠 利則 議員
(21政会)

問 消防団員の活躍により、日夜市民の生命と財産を守っていただいておりますことに感謝しております。現在消防団には団員の確保や昼間に出動できる団員数の減少という大きな課題があります。予防消防活動や救命講習会などに女性消防団員を取り入れることについて当市の考えをお聞かせいただきたい。

答 小野、三木市においては女性消防団員が防火広報や消防行事の司会等を中心に、親しまれる消防

活動として活躍されていると聞いています。当市での導入については、今後女性団員の意見をお聞きしながら検討していきたいと考えています。

問 学校環境整備について、会員数が減少しているPTAによる活動や先生方の草刈りだけでは不十分ではないのか。子どもたちが安全にのびのびと、勉強や運動ができる環境の良い学び舎こそ、地域の方が望んでおられるものである。地域の方が中心となり学校の維持管理を行っていくことで、校区単位のふるさと創造会議においても良いスタートになればと思うがいかがか。

答 小・中学校の環境保全については、教職員を中心に活動してい

ますが、生徒数が減少してきたことから、教職員数、保護者数ともども減少しており、負担がふえているのが現状です。そのため事前に作業範囲や内容の検討、打ち合わせを行い計画的に実施していますが、加西市は自然に囲まれている分、多くの手を入れなければならないのも事実です。実際の環境整備においては、ワッシュイスクールの方々、PTAのOB会等で構成されるおやじ会など、地域の方々のお力添えによるところが大きく、教育は家庭と地域と学校とが一体になって行うものだという視点からしますと、地域ぐるみで子どもを育てる環境を整備していくことが大切であり、学校支援地域本部事業の充実に取り組んでいきたいと考えています。

地域経済の活性化について 一般質問



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 三木市で商工業の振興条例ができました。また全体の事業を進めていくに当たって、住宅リフォーム(助成)制度もはじめましたし、公契約条例も平成26年の4月制定を目指して取り組むという方向性も打ち出している。

改めて今、アベノミクスといわれる中で、何か景気がよくなるような雰囲気があるが実態は厳しいと思う。それに対して具体的にどういう手立てをとろうとされているのか、お尋ねをしたい。

答 加西市商工会議所が会員を対象に、4半期ごとに加西市景気動向調査を実施されている。平成25年1月から3月間の市内企業の状況につきましては、売上の停滞、減少だけにとどまらず、原材料が急激に高くなっていることを経営上の問題として捉えている企業が大幅に増えているのが現状です。

問 加西市は三洋電機の発祥地として、下請けを含めた金属加工等の非常に多い地域だった。技術の継承が途絶えかけようとしている状況の中で、いま地域の力を調査をして、連携をはかり再構築する最後の段階だと思うが。

答 商工会議所の方も加西の企業の魅力は物づくりであるということを前面に打ち出されていま

すが、後継者の問題など市全体として商工会議所とどのようにタイアップしていくか、まだ明確な方向性が出されていない状況であると思います。ご指摘のような形での取り組み強化を、基本的には商工業、農業の振興条例も視野に入れた上で検討していきたい。

■その他の質問項目

- ・財政について
- ・原発事故対策について
- ・生活保護について
- ・県道の安全確保対策について
- ・人権について